

流山市市民参加推進委員会の評価シート

| | |
|--------------|---|
| 対象事業名 | 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）「ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画」 |
| 担当課 | 環境政策・放射能対策課 |

① 市民参加の方法の選択について

市民参加の手法の選択としては、専門的な意見を集めることができる審議会、広く意見を集められるパブリックコメントは妥当と判断する。

改訂部会に商工会議所や市民団体の委員を加えたことは評価する。しかし、パブリックコメントが少ないのはパブリックコメントの募集の仕方、何を聞きたいのか、情報提供の不備などがあったからではないかと考える。

《各委員からの意見》

- ・本計画が、「事務事業編」と「区域施策編」に分かれており、市民にとっても非常に分かりづらいのではないか。今回の「事務事業編」である「市役所率先実行計画」については、審議会での審議で十分であり、むしろ市役所での実績と問題点を公表し、市民が対象となる「区域施策編」につなげ、そこでパブリックコメントや意見交換会を開くという流れのほうが良かったのではないかと。
- ・本事業については、市の事業による温暖化ガス排出の問題であるにせよ、様々な意見や専門的見地を有する一般市民（グループ）も多いと思われるため、政策提案制度も検討もあり得たのではないだろうか。
- ・審議会及び実行計画部会の手法は適切と評価するが、この計画は、流山市役所限定の排出量削減計画であり、対象施設や数値目標等良く承知してない市民に対するパブリックコメントによる市民参加の手法の選択意図の曖昧さを感じる。

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

審議会議論の時間が十分に確保されており、妥当と判断する。

《各委員からの意見》

- ・予定より審議会の期間が延びたこともあって、パブリックコメントの実施時期が遅れたようであるが、パブリックコメントは審議会の審議が終了した後に必ずしも行う必要はないのではないか。パブリックコメントの意見を審議会に反映することも可能であるため、当初の通り実施してもよかったのではないかと。
- ・パブリックコメントで得た意見を素案に反映させるためには、もう少し早い段階でのパブリックコメント実施でも良かったのではないかと。審議会が終わってからだと、市民の意見を精査する方法がなく、反映させにくいのではないかと。
- ・上位計画（環境基本計画）を待って審議会や部会での検討を重ね、パブリックコメントの実施時期をずらしても、実施している点は、市民の意見聴取の意識がしっかりあったと思われる。限られた時間の中で工夫して、市民参加を実施していたものと思われるのでスケジュール変更も含めて妥当と考える。

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

パブリックコメント実施については、広報の2回の告知、市民環境講座での告知等を行ったことを評価する。また、各審議会の開催を1か月前からの周知した点も評価できる。

広報に2回告知するもパブリックコメントの意見が1名（2件）だったことは、パブリックコメントの周知不足と言うよりは、市民に対して投げかける内容が難しかったのではないかと考える。

《各委員からの意見》

- ・本計画の進捗状況は、「流山市環境白書」により報告されているようであるが、部数も限られるため、事業内容を広く市民に周知されているとは言えない。ホームページにおいても閲覧できるようであるが、市民から見ると、どこのサイトに行けばよいかわかりにくい。今後は、情報提供の在り方について検討されたい。
- ・パブリックコメントをしやすい情報提供やテーマ設定ができていたかどうか疑問。
- ・事業名称等を工夫したとのことであるが、地球温暖化対策は、誰でもできることであり、それを率先して市の事業で行うということであれば、もっと大々的にアピールし、意見が言えるように誰もがわかるよう工夫をすべきではないかと。また、FacebookやTwitterを利用する方法も検討するなど、ホームページと広報だけに頼らず、独自の方法を検討されたい。

④ 改善点について

《各委員からの意見》

- ・環境対策は市民の関心を喚起しなければならない。今回の対象事業が市役所のものであり、注意喚起が難しかったと想像されるが、市役所の取り組みは市内最大級の事業者として、市民や事業者にもよく理解してもらうことが重要である。周知と啓蒙は市民参加の両輪である。情報提供の場やチャンスを増やすことと、事業内容をわかりやすく解説し、関心を喚起することが求められる。
- ・情報公開の方法に改善が必要である。温暖化対策の啓蒙と、市役所での実践の公開をもっと行うべき。
- ・本計画が、「事務事業編」と「区域施策編」に分かれており、市民にとっても非常に分かりづらい。今回の「事務事業編」である「市役所率先実行計画」については、審議会での審議で十分であり、むしろ市役所での実績と問題点を公表し、市民が対象となる「区域施策編」につなげ、そこでパブリックコメントや意見交換会を開くという流れのほうが良かったのではないかと。
- ・本事業については、市の事業による温暖化ガス排出の問題であるにせよ、様々な意見や専門的見地を有する一般市民（グループ）も多いと思われるため、政策提案制度も検討もあり得たのではないだろうか。
- ・実施スケジュールの設定に際し、複数選択手法の相乗効果による効率、効果面に配慮の施策を検討されたい。

⑤ 当該事業の評価について

| | | | |
|------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| A - | + B - | + C - | + D - |
|------------|---------------------|---------------------|---------------------|